

第1学年 生活科学習指導案

日 時 平成21年11月17日(火) 2校時
児 童 1年 男7名 女2名 計9名
場 所 1年教室
指導者 小野 裕子

1 単元名 みんなだいすき

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領において生活科の目標は「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。」である。この目標を受けて、9項目の内容が設定されている。本単元は特に「(2) 家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。」に重点をおいて構成されている。

本単元では、家の人といっしょにしてみたい遊びや仕事をするにより、生活を支えている家の人のことや自分の家庭生活に目を向けられるようにし、さらに継続して家の人といっしょに仕事することで、家庭の温かさや家の人の大切さを実感できるようにしたい。また、自分でできる仕事について考え、行っていくことを通して、自分でできるようになった喜びと自分が家族の一員として役に立ったという満足感を味わわせたい。そして一層その役割を積極的に果たそうとする態度を育てていきたい。

(2) 児童について

子どもたちは家で、兄弟とままごとや自転車乗り、砂遊び、生き物探しなどをして遊んでいる。家族みんなでトランプをしたり、祖父母とあやとりで遊んだり、竹鉄砲作りを教わったりした経験を持つ子どもはいるが、数は少ない。父母との遊びもキャッチボールやDSのゲーム、かくれんぼなどで、いっしょに遊んだ経験はあまりない。中には、家にいる大人と遊んだことがないという子どももいる。昔遊びも、家族ではなく児童館で教わったという子どもが大半である。

家での仕事については、5名が毎日行っていると答えている。他の子どもも、毎日ではないが時々も行っている。内容は、皿洗い、靴揃え、カーテンの開け閉め、食器運び、風呂掃除などである。仕事をした時に、「がんばったね」「助かったよ。」「上手だね」と褒められて、うれしい思いを経験した子どももいる。

学校生活の中では、日直や給食などの当番活動や係活動に意欲的に取り組んだり、仕事をする友達に手を貸したりするなど、進んで働き、仕事をする楽しさを感じている様子が見られる。しかし、中には声をかけないと仕事を忘れてしまったり、うまくやれずいい加減になってしまったりすることがある。

(3) 指導にあたって

○ 指導観

学習を進めるにあたって、家庭に学習のねらいや内容を知らせ、協力を求めて、子どもたちが安心して活動に取り組めるようにしたい。祖父母や家の人といっしょに遊ぶことを通して、遊びの楽しさを共有し、家庭の温かさを実感できるようにと願う。仕事に関しては、1年生は技能が未熟であるため家の人の支援が必要であり、満足のいく仕上がりとならないこともあり得る。しかし、本単元で、家の人に教わりながら継続して仕事をする中で、うまくやるコツを身に付け、自分でできたという喜びや満足感を十分に味わわせたい。そして、家族の一員としてできることがあるのだと気付かせ、働くことに興味・関心をもたせて、自分でできることはやろうとする自立の芽を育てていきたい。

また、活動の様子は学級だより等を通して家庭に伝え、家庭との連携を図っていききたい。子どもたちができるようになった喜びや楽しさを共感し合い、それを家庭にも広めることで、一層意欲を高めていけるようにしたい。

○ キャリア教育に関して

家の人が子どもの頃遊んでいた遊びや家の人がしている仕事、家の人の仕事を手伝った経験や自分が受け持っている仕事などについて調べることを通して、家族の様子や思いが分かり、いっしょに遊ぶ楽しさや家族の一員として働く喜びに気付かせたい。(情報収集・探索能力) 祖父母や友だちといっしょに遊んだり発表を聞いたりする中で、友だちのよいところを発見し認め合えるようにしたい。また家の人から仕事を教わったり継続して仕事に取り組んだりすることを通して、自分自身のがんばりやよさを実感できるようにしたい。(自他の理解能力) さらに、遊びや仕事の様子をみんなによく伝わるように発表し、質問や感想を出し合ったり、祖父母と楽しく交流したりしながら、伝え合う力を育てたい。(コミュニケーション能力) 仕事にかかわっては、家庭にはいろいろな仕事があり、家族がお互いに仕事を受け持ち、役割を担っていることが分かるようにしたい。(役割把握・認識能力)

(4) キャリア教育との関連

単元名	ねらいの観点							
	人とかかわる力		働くことの大切さに気づく力		自己の夢をつくり上げる力		自ら考え、粘り強く取り組む力	
	自他の理解能力	コミュニケーション能力	情報収集・探索能力	職業理解能力	役割把握・認識能力	計画実行能力	選択能力	課題解決能力
	◎	○	◎		○			
みんなだいすき	【キャリア教育単元目標】 ◎遊びや仕事について調べることで家族の様子が分かり、いっしょに遊ぶ楽しさや働く喜びに気付く。(情報収集・探索能力) ◎活動や発表を通して、友だちのよいところを見つけたり、自分のがんばりやよさを見つけたりする。(自他の理解能力) ○友だちの前で発表したり、友だちの発表を聞いて質問や感想を話したり、祖父母と楽しく交流したりする。(コミュニケーション能力) ○家庭では割り当てられた仕事や役割があることが分かる。(役割把握・認識能力)							

3 単元目標

◎家庭での自分の生活に目を向け、家の人といっしょに遊んだり仕事をしたりして、その楽しさを実感し、さらに自分のことは自分でする、家庭が楽しくなることを工夫する、家庭の仕事を分担する、などの自分の役割を積極的に果たすことができる。

- ・家の人や家庭での生活に目を向け、家の人といっしょにしてみたい遊びや仕事などを楽しく行ったり、自分でできることを継続して行ったりしようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・家庭での生活がより楽しくなるように考え、家庭の仕事を分担したり、家の人や喜びことを工夫したりして、生活することができる。(思考・表現)
- ・家庭の温かさや家の人や大切さ、家の人や支えがあって楽しい仲間などがあることに気付くとともに、楽しく生活するために自分ができることに気付いている。(気付き)

4 指導計画(12時間)

小単元と活動計画	観点別評価規準
1 うちのひとといっしょにあそぼう (4時間) ・家の人や子どもの頃遊んでいた遊びについて調べて発表し、やってみよう遊びを考える。	◎意欲的に祖父母や家の人との遊びに取り組もうとしている。(関心・意欲・態度) ○いろいろな遊びを知って仲良く遊んだり、家の人といっしょに楽しく遊んだりすることがで

<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母といっしょに昔遊びを楽しむ。 (1) ・家の人といっしょに遊びたいことを決め、計画を立てて実行する。 (1) ・家の人といっしょにした遊びについて、友だちに紹介する。 (1) 	<p>きる。 (思考・表現)</p> <p>○家の人といっしょに遊びをすると楽しいことに気付いている。 (気付き)</p>
<p>2 うちのひとといっしょにしごとをしよう (5時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人や自分の仕事について調べ発表する。 (1) ・家の人といっしょにしてみたい仕事を決め、計画を立てて実行する。 (1) ・家の人とした仕事について発表するための作品をつくらたり、発表の準備をしたりする。 (2) ・家の人といっしょにした仕事の様子、楽しかったことなどを発表する。 (1) 本時 	<p>○家の人といっしょに仕事をして楽しかったことなどを、進んで発表しようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>◎家での仕事について、表現の内容や方法を工夫して発表することができる。 (思考・表現)</p> <p>○家の人や家庭や外でしている仕事について分かるとともに、家の人や支えがあつて楽しい仲間があることに気付いている。 (気付き)</p>
<p>3 もっとたのしくしよう (3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人といっしょにしてうれしかったことを振り返り、家の人に手紙を書く。 (1) ・家の生活をもっと楽しくするために、自分でできることを考え、計画を立てて実行する。 (1) ・家で自分や家の人たちの生活を楽しくするために工夫したことを発表し合う。 (1) 	<p>○家庭の一員として自分でできることを新しく見つけ、実行しようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○家のみんなが楽しく生活するために、自分でできることを工夫して行うことができる。 (思考・表現)</p> <p>◎自分でできることを進んで行うことを通して、家の人や支えがあつて生活することの楽しさや大切さ、進んで取り組んでいる自分のよさに気付いている。 (気付き)</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・家の人といっしょにした仕事の様子やこつが伝わるように工夫して発表することができる。

(思考・表現)

(2) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (○評価)	準備
<p>つかむ</p> <p>4分</p>	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>いえの人といっしょにやったしごとをともだちにつたえよう。</p> </div> <p><発表する人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっきり大きな声で ・仕事のこつ <p><聞く人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す人の顔を見て ・同じところ、似ているところ ・友だちのよいところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・家の人と一緒にした仕事の内容とうまくやるこつを友だちに伝えることを確認する。 ・仕事のこつや友だちのよいところ、自分の仕事との共通点を見つけながら聞くことを確認する。 	<p>課題 (紙板書)</p> <p>発表の留意点 (紙板書)</p> <p>発表一覧表 (紙板書)</p>

か か わ る	<p>2 仕事の様子やコツを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おそうじグループ ・おせんたくグループ ・おりょうりグループ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ずつ発表するが、関連のグループごとに行う。質問や感想を含めて1グループ5分程度とし、実演・ペープサート・絵などで表現する。 ・発表では誰としたのか、仕事のこつやがんばったこと、楽しかったことなどを伝えるようにする。 ・それぞれの取り組みを称揚し認めるようにする。 ・仕事の内容やこつに触れている感想をほめ、友達のよいところを見つけられるように支援する。 <p>○仕事の様子やうまくやるこつが伝わるように工夫して発表することができたか。</p>	発表の道具 (実物・ペープサート・絵等)
36 分	<p>3 仕事をしてみて、気付いたことや思ったことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しさやがんばりに共感しながら、どの仕事も家族のために役立っていることを伝え、満足感や喜びの気持ちをもてるようにする。 ・家の人が支えてくれたことに気付かせ、感謝の気持ちをもてるようにする。 	
	<p>4 家の人の感想を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で読む。 ・紹介を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに書いてもらった家の人の感想を読み、家族の役に立てた喜びを再確認して、意欲を高める。 ・家の人の感想を読んで紹介する。 	家の人の感想カード
ふ り か え る 5 分	<p>5 家の人の感想を読んで思ったことを発表し、次への活動の意欲をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのがんばりを認め、これからも続けて仕事をしていきたいという気持ちをもてるようにする。 ・次時は家の人に手紙を書くことを知らせ、今後さらにやってみたいことに挑戦していくことを伝える。 	

(3) 評価規準と具体の評価規準

学習活動における 評価規準	具体の評価規準		支 援
	十分に満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
<p>家での仕事の様子やうまくやるこつが伝わるように、工夫して発表することができる。 (思考・表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の様子やこつが分かりやすく伝わるように、表現方法を工夫し、話し方に注意して発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の様子やこつが伝わるように、自分なりの表現方法で発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容やどのようにすると仕事がうまくできるかを聞き出し、発表できるよう支援する。

(4) 板書計画

いえの人といっしょにやった
しごとをともだちにつたえよう。

<はっぴょうする人>

- ・はっきり大きなこえで
- ・しごとのこつ

<きく人>

- ・はなす人のかおをみて
- ・おなじところ, にているところ
- ・ともだちのよいところ

・おそうじグループ

〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん

・おせんたくグループ

〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん

・おりょうりグループ

〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん